

Dr.越知  
不妊治療  
誌上セミナー



masanori ochi

院長 越知正憲

藤田保健衛生大学卒。愛知県内の病院で経験を積み、先進の設備と技術を持つ「おち夢クリニック名古屋」を開院。名古屋地区で最大規模の不妊治療専門クリニックとして、身体にやさしい治療を続ける一方、藤田保健衛生大学客員講師も務める。

第10回

不妊治療には年齢的限界も  
妊娠望むなら早めに相談を

不妊治療は年齢が上がるほど難しくなるため、早期開始が大切。「おち夢クリニック名古屋」では、「悩みを抱えず相談を」と呼びかける。

初診時は看護師が問診  
メンタルケアに注力

「子供が欲しい」と願ってから1年以内に妊娠する確率は約80%、2年以内なら約90%と、その確率はさらに高くなる。2年間で妊娠しなかった約10%に当たる夫婦のことを一般的に不妊症という。

いまや7.5組に1組が不妊で悩んでいるといわれているが、そのすべてが専門医で治療を受けているわけではない。デリケートな問題だけに、誰にも相談できずに悩んでいるという夫婦も少なくないようだ。不妊専門の治療施設として開業して10年、多くの患者の相談に乗ってきた「おち夢クリニック名古屋」の越知正憲院長は「不妊かもしれないと思ったら、悩みを自分たちで抱え込まず、早めに相談することが大切です」と呼びかける。

越知院長が早期相談の必要性を訴えるには理由がある。年齢が上がるほど女性の卵巣機能が低下するため、治療が難しくなるからだ。目安として35歳を上限に妊娠を考えるとよい、と

越知院長は説く。先述の通り、相談しにくい不妊の悩み。同クリニックではどのような受け入れ態勢を整えているのだろうか。「患者さんの不安を取り除くための対応を心掛けています」とは看護師長の小野雅子さん。看護師が患者と接する時は常に笑顔。メンタルケアをしつつ、治療がスムーズに行くようサポートしているという。また同クリニックでは、2カ月に1度のペースで、悩みを抱える人たちに不妊治療への第一歩を踏み出してもらうため、勉強会を開催。設備面でも先進の検査設備や技術を投入している。

- 1.「患者さんの一生に関わる大切な仕事にやりがいを感じる」と話す小野看護師長。
2. 患者同士の交流や情報交換のための「お話しノート」。
3. ゆったり広い待合室。患者のプライバシーにも配慮している。



おち夢クリニック名古屋

おちゆめクリニックなごや

DATA

- ☎052-968-2203
- 📍名古屋市中区丸の内3-19-12 久屋パークサイドビル8F
- 🕒月～木/10:00～12:30 16:00～18:30、金～日・祝/10:00～12:30
- 🚫無休 🏥体外授精¥346,500～(完全自然周期は成功報酬制あり)
- 📞不可 📧なし
- 📍地下鉄名城線・桜通線久屋大通駅2A出口より徒歩1分 📞要予約
- 🌐www.art-ochi.com

